

《短報》

下関市豊北町で記録した新たな陸産貝類と外来種オオクビキレガイの産地

増野和幸

豊田ホタルの里ミュージアム, 〒750-0441 山口県下関市豊田町大字中村 50-3

はじめに

山口県下関市豊北町の陸産・淡水産貝類について、2017年の調査で陸産貝78種、淡水産貝4種を記録した(増野・川野,2019)。その後の調査で、新たな陸産1種を採集した。また、豊北町内には県内でも早くから(2002年ごろ)外来種の一つであるオオクビキレガイ *Rumina decollata* (Linnaeus)の移入が確認され(増野,2008)、野生化した個体の繁殖が見られる。今回、新たに島嶼部・角島での生息を確認したので、あわせて町内での本種の分布を報告する。

種の同定の確認は矢野重文氏にお願いした。また、角島に関する情報は松田真紀子氏から得た。記して感謝の意を表す。採集標本は豊田ホタルの里ミュージアムに収蔵する。

採集記録と考察

【新たに記録した種】

コハクガイ科 Family Zonitidae

ヒメコハクガイ *Hawaii minuscula* (Binney) 図 1-A

山口県下関市豊北町荒田アシ原(海浜),2017-XI-17,死殻 1ex.

生息環境は、海浜のアシが繁茂する砂地、落葉下。リター採取の後、実体顕微鏡下で採集。同所的に次の諸種を採集した。ミジンマイマイ *Vallonia pulchellula* (Heude), 32exs., スナガイ *Gastroeopta armigerella armigerella* (Reinhardt), 2exs., トクサオカチョウジガイ *Allopeas javanicum* (Reeve), 34exs., サツマオカチョウジガイ *Allopeas satsumense* (Pilsbry), 2exs., オオクビキレガイ *Rumina decollata* (Linnaeus), 5exs., クルマナタネガイ *Punetum rota* Pilsbry & Hirase, 1ex., ハリマキビ *Parakaliella harimensis* (Pilsbry), 1ex.

なお、本種はアメリカ合衆国から移入された外来種とされているが、アラスカやアリユウシャンに続く自然分布であるとされるなど、研究者によって異なる見解があることを Kano (1996) は報告している。

※既報リスト(増野・川野,2018)にあるイシノシタ科ノハラノイシノシタ *Helicodiscus (Hebetoidiscus) singleyanus inermis* Baker は、ヒメコハクガイの誤同定であり、ここに訂正する。

【角島で記録したオオクビキレガイ】

オカクチキレガイ科 Family Subulinidae

オオクビキレガイ *Rumina decollata* (Linnaeus) 図 1-B

山口県下関市豊北町角島大浜海岸,2018-XI-16,48exs.

本種は1988年に北九州市で記録され(湊・魚住,1991)、山口県内では国内第2の記録として1992年に宇部市で発見された外来種である(増野,1992)。原産地は地中海を囲む南欧、北アフリカ、西アジア地域(松隈ら,2006)で、豊北町内への移入は比較的早く、2002年ごろである(増野,2008)。町内での拡大の中心は和久地域で2000年ごろから人家周辺の畑で見られるようになり、徐々に隣接する南部の岡林地域でも繁殖が確認されるようになった。地元の話では古くなった漁網や船資材の移動、道路工事に伴う土砂の搬

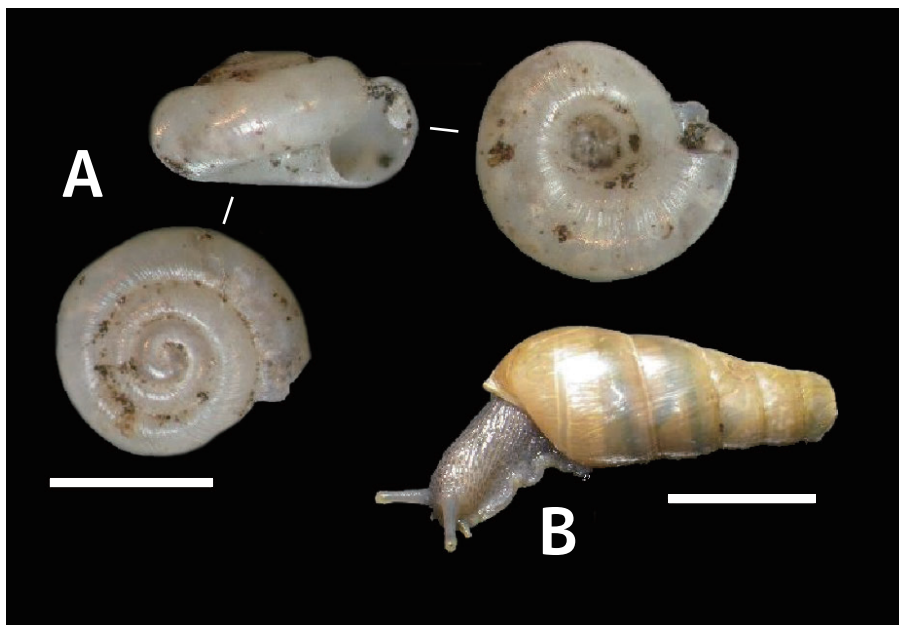


図 1. 山口県下関市豊北町産のヒメコハクガイとオオクビキレガイ
 A. ヒメコハクガイ（荒田産）；B. オオクビキレガイ（角島産）。
 ※Scale bar: A. 1mm; B. 1cm.

入等が原因ではと推測されている。その後、南部の土井ヶ浜、北部の荒田地域に、国道 191 号線に沿って拡大している。特に土井ヶ浜、荒田では海岸に近い畑地、荒地、海浜植物の根元で多量に繁殖している。豊北町をはじめ県内各地の生息地の環境は、いずれも人家周辺、花壇、住宅周囲のブッシュなどに限定されており、本種の拡大が人の移動や土砂、植物（野菜、植木類）、物（植木鉢、瓦、耕作機類）などの人為的なことによることが考えられる。

豊北町内では沿岸部に近い神田岬、土井ヶ浜、和久、岡林、荒田、そして島嶼部の角島西部・元山の大小浜海岸及び付近にある共同墓地に生息していることがわかった。また、近年、移入の空白地であった内陸部の美祢市でも確認され、県全域に拡大していることが報告されている（増野, 2018）。

引用文献

- Kano Yasunori (1996) A revision of the species previously known as *Hawaiia mimuscula* in Japan and the discovery of the Helicodiscidae, the family new to Japan. *The Yuriyagai (Journal of the Malacozoological Association of Yamaguchi)*, 4 (1/2): 39-59. 狩野泰則: 日本産“ヒメコハクガイ”の再検討と本邦初記録のオソモソタ科（新称）。
- 増野和幸 (1992) オオクビキレガイ山口県に産す。ちりぼたん, 22 (2): 55-56.
- 増野和幸 (2008) 移入種オオクビキレガイの山口県での生息状況。山口県の自然, 68: 24-27.
- 増野和幸・川野敬介 (2018) 下関市豊北町の陸産・淡水産貝類。豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (10): 51-84.
- 増野和幸 (2018) 山口県全域に拡大した外来種オオクビキレガイ *Rumina decollata*. 山口生物, 38: 27-32.
- 松隈明彦・秋月定良・秋月シズカ・嶺井久勝 (2006) 偶発的移入種オオクビキレガイ（腹足綱：オオクビキレガイ科）の福岡県での生息状況とその拡散速度。ちりぼたん, 37 (1): 7-12.
- 湊 宏・魚住賢司 (1991) 北九州市で見つかったオオクビキレガイ。ちりぼたん, 22 (3): 72-74.